

どっこいしょ

Dokkoisyo

2016.4.14. (木) 第2号

名づけられた葉

— 入学式の式辞より —



▲ 第38回入学式

4月8日(金)の第38回入学式で新入生に紹介した詩は、新川和江さんの「名づけられた葉」。合唱曲として文化祭などで歌われることもあります。

「名づけられた葉」

ボブラの木にはボブラの葉
何千何万芽をふいて
緑の小さな手をひろげ
いっしんにひらひらさせても
ひとつひとつのてのひらに
載せられる名はみな同じ

わたしも
いちまいの葉にすぎないけれど
あつい血の樹液をもつ
にんげんの歴史の幹から分かれた小枝に
不安げにしがみついた
おさない葉っぱにすぎないけれど
わたしは呼ばれる
わたしだけの名で 朝に夕に

だからわたし 考えなければならぬ
誰のまねでもない
葉脈の走らせ方を 刻みの入れ方を
せいっぱい緑をかがやかせて
うつくしく散る法を
名づけられた葉なのだから
考えなければならぬ
どんなに風がつよくとも

新川 和江

名

メイ、ミョウ、な
口と夕(ゆうがたの意)と
を合わせて、夕方の暗い中
で自分の名をのって、相
手に自分のことを知らせる
意味を表す。



▲ 生徒会歓迎の言葉

これまで皆さんは、幼稚園や保育所、小学校で様々な場面で名前を呼ばれてきました。今日からは中学生として名前を呼ばれます。新しいクラス、新しい先生との出会い、部活動の仲間や先輩との出会いの中で、毎日、名前が呼ばれます。その時々にしつかりとした返事ができ、自信を持って学習や部活動、様々な行事に取り組んで、ほしいと思います。

保護者の皆さまへ、中学生時代は、生徒一人ひとりが自分自身を理解し、いかに生きるかという人生設計の基礎を築く、かけがえのない時期です。教職員一同、力の限り、お子様の健やかな成長と夢の実現に向けてがんばる所存です。しかし、成長盛りで多感な時期を迎えるわけですから、いろいろな出来事があると思います。その時々が一番大切なことは、保護者の皆さまと私たち教職員の心が一つになっていることだと思います。

家庭で、学校で、お子さんの「名」をしっかりと呼び続けましょう。

各学年では、「学年便り」が発行されています。

- 1年生 「若葉」
- 2年生 「絆 (KIZUNA)」
- 3年生 「Clover」

学年の様子、学校の様子をお伝えする大切な「便り」となっております。毎号、欠かさず目を通していただき、今後ご支援、ご協力をお願いいたします。



▲ 1年生誓いの言葉



▲ 保護者席